

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	111	学校名	仙台市立住吉台小学校	校長名	鎌田 悟朗
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

身近な自然や自然を守っている方との関わりを通しての活動



2 取組の紹介

オオムラサキクラブの活動と環境緑化活動への取組を紹介します。

3 取組の成果

(1) オオムラサキクラブの活動と成果

住吉台の町内には、国蝶オオムラサキを飼育し、放虫を続ける活動をしている『オオムラサキの舞うふる里を育てる会』（通称：オオムラサキ会）があります。この会は、発足から31年目を迎えています。3年生の総合的な学習の時間では、オオムラサキ会の方々からオオムラサキの生態や成長について教えていただき、命を大切にすることや、生き物の生活環境を守っていこうとする気持ちを育み続けています。

昨年春に幼虫が全くいなくなり、オオムラサキ会の方が東郷公民館より7匹の幼虫を譲り受けました。その幼虫をハウス内の素焼きの鉢に入れ落ち葉をかぶせてネットをはり越冬させています。

オオムラサキハウスの様子



今年はおオムラサキの姿が見られませんが、夏の盛りには、例年50匹ほどのオオムラサキが飛び交います。

オオムラサキのオス



オオムラサキの名前は、羽の表側の美しいむらさき色由来しています。でも、この美しいむらさき色は、オスだけに見られる特徴です。

冬のオオムラサキの様子

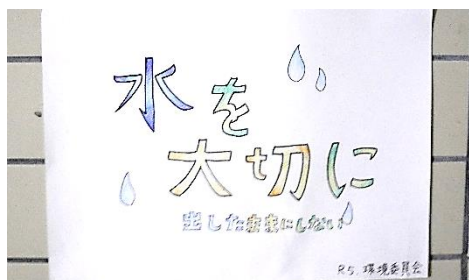


1匹1匹の幼虫を大切に、素焼きの鉢に入れ落ち葉をかぶせてネットをはり越冬させています。

(2) 環境緑化活動への取組と成果

環境委員会が中心となり、ゴミの分別や節電、節水などを呼びかけるポスターの掲示や、放送での呼びかけを行いました。その結果、普段から環境を大切にしようという意識が高まってきました。

10月には、学校中の花壇やプランターに花苗の植え替えや球根の植え付け作業を全児童で分担して行いました。来年度の春には、咲き誇った花で新1年生を迎えられるように心を込めて作業しました。一人一人が目的意識を持って、緑化作業に取り組むことができたので、植物を大切にする心が今まで以上に育ってきました。



環境への呼びかけポスター



環境に関する放送



各学年で整備した花壇